

'71

# 会報



THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA

## 鶴岡ロータリー

第 596 号

1971.3.30 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

### 四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか  
is it the truth?
2. みんなに公平か  
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか  
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか  
will it be beneficial to all concerned?

会報はご家族みんなで読みましょう

### 〆隔りを取り除こう〆

#### 出席報告

本日の出席	会 員 数	61名
	出 席 数	45名
	出 席 率	73.77%
欠 席 者	阿宗君、阿部(襄)君、荒明君、安藤君、長谷川(悦)君、早坂(徳)君、林君、橋浦君、平田(圭)君、粕川君、金野君、三井(徹)君、齋藤(栄)君、齋藤(信)君、佐藤(昇)君、富樫君	
前回の出席	前回出席率	65.57%
	修正出席数	54名
	確定出席率	88.52%
マークアップ	五十嵐(伊)君—酒田東 RC	
	阿宗君—新庄 RC	
	藪田君—高畠 RC	
	阿部(襄)君、長谷川(文)君、林君、五十嵐(一)君、金井君、今間君、三井(徹)君、廖君、高橋君、富樫君、鷲田君—鶴岡西 RC	

ビジター 帯谷義雄君、五十嵐卓三君、松田善三郎君—鶴岡西 RC

スマイル 上野三郎君  
酒田市浜町通りに、ホームベーカリーラックル開店の為

#### 会長報告

今日のスケジュールは、前回の例会で早坂さんから老人問題を提起されましたが、しりきれになったので、今日改めて別の見地からでも早坂さんからも一度発言をねがいます。

次に新年度の親睦委員の方々にお諮りしたいことがあるので、例会終了後お残りねがいます。

それから報告事項を申し上げます。それは未だはっきりした数字をつかみ得ませんので概数ですが、過日当ロータリークラブも共催しました西多賀ベッドクルの映画の観賞会は27日、28日の両日中央公民館で上映されました。27日の夜と28日の夜に私が出まして数えたところによると、27日の夜が約80名位、同日の昼が約100名位、28日の夜が約80名位で大体合計で260名内外の方々からみていただきました。そのときに募金の函を設けましたが、たまたま小中学生が多かったためもあり募金の額は少く、総額で約13,000円位とのことです。詳細は調べましたらプリントにして報告したいと存じます。西多賀ベッドサイドでは大変喜んで帰られ、このような企画があれば他の団体でもやっていただければ有難いと言っておられ、ロータリークラブによるらしく言ってくれとのことでした。

それから、株式会社海外旅行からの案内ですが、対照とするのがヨーロッパの生活体験「夏のスイスで楽しい交流をしましょう」ということです。ヨーロッパの生活体験、ただ年齢が12才から18才までの男女が、夏休みにスイスで過して、「若い世代に世界を身近に」というテーマで、ヨーロッパの世界体験をするということです。お子さんやお孫さんに、参加させる会員の方がございますればお申込ねがえれば有難いと存じます。その資料を回覧いたします。

次に新会員の推選状について、次回例会まででメッキリたいと思いますので、若し推選される方がありましたら、御提出ねがいます。

今のところ6人の方が出ております。一緒にしたいと思いますのでよろしくねがいます。

次に時期的に手配がおくれて申訳なかったのですが、此の度退会される林先生、転勤になります粕川さんにロータリークラブの方から記念品として差上げるべく手配中のものが、今日届きましたので、私と幹事が林先生までお伺いしてお届けしたいと思えます。粕川さんにもそのようにしたいと思えますのでご了承ねがいます。

#### 店舗開店の質問に答えて 上野三郎君

お蔭様で、ささやかな家ですが、酒田市浜町通り丸一本店の三軒目の隣に、ホームベーカリーを開店しました。ラッケルという名前はデンマークの言葉だそうで、他の方からおききたところによると、非常においしいとか、高級だとかさういった意味だそうです。私共のねがいとしては、その言葉のような、おいしい製品を楽しい雰囲気を買っていただき、いつまでも可愛がっていただきたいというのが念願であります。どうぞ酒田においでるときには、一寸お寄りいただければ有難いと存じます。

#### 老人問題について 早坂源四郎君

先週の例会で老人問題を探り上げましたがまた本日も時間の余裕があるので、重ねてこの問題を探り上げたいと思えます。

私の次に、佐藤伊和治さんがお話しなさるそうです。それから池内さんも一言あるということで、私は10分間位この問題だけで恐縮

ですがふれてみたいと思えます。

先日の例会で張先生が医学的な立場から、老人には個体的に差があるので、年令的には云えないというドクターとしての話がありました。誠にごもつともなお話で傾聴いたしました。私が老人を意識したのは昨年山形県庁から老人の調査表がまいりましたアンケートです。相当詳細にそれを記入しなければならぬ。それが大体60才を基準にしている。それからその次に、市役所の方で、何か60才になると何かするというような保険があるという話であります。また所得税法これはいま行政面、所得税法から申し上げますと、皆様御承知のように65才になると老齡控除というのがあります。これで何万円か税金が安くなります。それから佐藤さんが会長をやっておられる厚生年金は、たしか満65才になると掛金が15年間保険に入っておれば資格を得られます。私は未だそれをいただいておりません。それは掛金が未だ15年にならんからであります。来年あたりに貰えるでないかと楽しみにしております。こういうことについて佐藤さんからお話していただきたいと思えます。

以上からして老人とは満65才が基準になってくるのではないかとおわれます。一方立場をかえてゴルフクラブはこれをどう扱っているかということ、ゴルフクラブではシニアという特別の会員があって、これは60才が基準となっております。ロータリークラブはどうかということ、60才で満10年会員であると、シニアであることを本人が希望出来るとなっております。満65才になり会員で5年おると自動的にシニア会員にさせられます。ということは、ロータリークラブでは満65才になるとシニアと考える。シニアというのは御承知のように元老とか、上の人という意味で老人という言葉に使ってないが、事実は老人です。国際的にみても我国の所得税法厚生年金法から云っても、外部的条件からみれば、満65才が老人である。ただ問題は老人を意識しているか、意識してないかというちがいがいたと思えます。

こういうことを云ったって、ロータリークラブの人はおそらく老人意識はないと思えます。何故なれば、仕事をしておられる。あるいは社会的に活動しておられる。経済的に恵まれている。こういう方は、私の考えとしては老人の範囲に入らぬではないかと思いま

す。

私はここで、老人問題として社会問題として、採り上げてくる老人福祉の問題が、やはりそういう環境の内助でないかと思うのであります。これについて政府はどういう見解をもっているかということをお話し申し上げて私の話を終りたいと思います。

実は資料は偶然に見付けたのです。何か時事通信の雑誌に書いてあった佐藤首相の答弁ですが、これは今年の1月25日衆議院の本会議で公明党の竹入議員に対する答弁です。

「最近における人口構造の変動に伴い、急速に人口が老齢化しつつある老人福祉の問題が益々重要になっていることは、さきに施政方針演説においても指摘した通りであります。46年度予算の編成に当っては、充分この点に配意したものであり、新しく一人暮らしの老人対策として、相談電話の設置、疾兵時の看護人派遣に対する助成、老人の生甲斐を昂めるための老人社会奉仕団活動の助成、寝たきり老人対策として在宅機能回復訓練を実施するなど、きめ細い配慮を払ったものであります。更には特別養護老人ホームの大型整備をはかるなど、46年度予算をよく御覧いただければ、老人に対して極めて冷淡であるという非難は全く当たらないことをよく御理解いただけたと思います。なお老人以上の無償化について（医療費）御提案がありました。社会保険審議会において老人医療は公費負担によるべきであるという意味が強いことは、私もよく承知しております。しかしながら、一方において、医療保険制度の抜本改正の一環として、老齢保険制度の創設が議論されているところでもあります。この問題についてなお慎重に検討したいと考えます。なお当面老人医療問題の改善をはかるため46年度予算において、健保の給付内容につき老人及び長期勤続者を対称として改善措置を講じたことを申し添えておきます」

以上のようなものですが、私は正直に言って今申し上げたことはよくわかりません。しかし政府もいろいろ問題を考えていることは事実であります。我々がこれに対し余りにも関心をもたな過ぎたことを今更ながら驚いている次第です。自分自身が今更ながら法的に老人ながら。以上でございます。

## 老人問題等について 佐藤伊和治君

林先生が引退され、手塚さんがおやめになって、辻さんもやめられるということになると、私が最年長者になるかもしれません。

老人もいいところで、老人とははや桶に片足を突込んでいることなりと云われるが、私もその通りです。やはり秋霜落莫として、何とも云えない感じというのが老人ではないかと思ひます。私でなくて老人とは何ぞやということ、先頃からあたりでぎゃーぎゃーいっておりますが、第一線を退いたものが老人だというのが、それは形の上だけで、若し人間は活きているのだから創造性がなくなったら速かにあの世に行った方がよいと思ひます。やはり新しいものを創造していくという意欲創作意欲がなくなったら作家も零で、創造力がなくなったら人間も零です。そんなのが、育っているんだから、老人福祉対策として金を支給するなどということは、もったいないと思ひます。マルチン・ソーバーというイギリスの哲学者が、83才から85才まで3年間かかって老人の対話という本を完成したといわれます。その結論は、これから物をはじめるといふことを忘れなかつたら年寄というものは素晴らしいものではないかと云っています。それがなくなったらあの世行きだとのこと。これが結論だったのです。

20代、30代は素晴らしいものだと思います。40～50～60代などは、分別盛りでずるさの骨頂だと云われます。これはずるい人間の集りだと裏返しによく云えば、分別盛りだということになります。やはり20～30代の本當の向う見ずのアイディア創造力のあるところに人間の華々しさがあるでないかと思ひます。

20～30代の世代をとり上げるのが年配諸君の責任でないかと思ひます。俺がやるんだなどということであつたら、余程頭の悪い男でないかと思ひます。

忘れもしない2月27日に、厚生年金のことで陳情に行きました。事を実現するには、どうしても代議士の力を借りなければ何々容易に出来ないことを私は、昭和7年のときにつくづく感じました。私の会社の組織、財団法人克念社は創立に際し、完全に当時の2区松岡代議士の力を借りたのであります。彼の奮闘振りは大したものであります。

林先生が今度おやめになるとのこと、私

が2〜3日前に高専に行って種々お話ししてきましたが、高専を運営するにしても、殆んど代議士の力を借りなければ何も出来ませんと彼が述懐しておられました。

私共も諸代議士からいろいろお世話になっております。やはり最高機関だからそういう仕組みになっているので、これほと思う力のある代議士に対しては、一辺の力を尽すのが、我々地域住民のためにいいのではないかとというのが私の持論であります。

さて話が戻りますが、2月27日、厚生省では厚生年金のことで10ヶ所位廻りました。厚生年金は、外国に比べて余りに劣りすぎております。それでもよくわからないが、わからぬなりに向うに当たってみると、厚生省の役人も本当のことを云うので有難いものです。厚生省の某局長から、君方のやることは実に有難いから自分の車を貸すので大蔵省に行ってくれとのことでした。そして大蔵省は冷いぞと附言されました。

それから大蔵省に行って、恩給と我々の厚生年金とが余りに差があり過ぎることで、（これは天地の差もあるので、それでも社会福祉なくして国家の経済の生長なく云々と云われているが）役人と話し合いました。そうしたところ役人は、恩給と厚生年金に差があるのは君方の責任だと云うのです。役人は我々が雇っているから我々を保護するのが当然ではないかと。お前の方の従業員はお前方が雇っているからお前方が保護するのが当然ではないかといわれました。これに対して、国家の経済を支えているのは役人では断じてないと。我々であると。それに差別をつけるのは何事だと反駁したところ先方はだまってしまうました。そしてよくわかりましたと云ってしまいました。しかしわかったものかどうかははかりしれません。

そう云ったこともあったので、私の本当に考えることは、年寄として体力は衰えてそんな感がするのですが、それが心の持ち方次第などということではなく、自分が新しいことをやることによって新しいアイデアが自分で浮ぶということがあるうちは、私は年寄ではないではないかと思えます。そうでなくマンネリズムで、今までやってきたことをくりかえすことでは完全な年寄と云われます。何と云われようとも、俺は俺の考えがあり、20〜30代の人々の若い世代のアイデアをそっく

りとり上げて、それは俺がやり、責任は俺が負うんだという風になってくることの方がいいのではないかと、私は斯様に信じて疑わないのであります。まだまだやりたいが、やられなくなったときは左様ならなんだと思いません。

兎に角ロータリークラブの老化現象なしと私は断じて云われないと、やはり新しい生き活きた事をたのしみながらやっていくという恰好になるなら老化現象ではなく、そうでなかったら老化現象と云えます。

重ねて申しますが、とに角新しいことを産み出す力のあるうちは、老化現象ではないと思えます。

## 幹事報告

会報到着

郡山RC、尾花沢RC

例会変更

東京日本橋RC 4月6日

PM 5.30〜6.30

チャーターナイト案内

尾張旭RC 6月20日(日)

ホテル・ナゴヤ・キャッスル

4月定例理事会

4月6日(火) AM 11〜 例会場